

第7期小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

相談支援部会

協議テーマ	第6期からの課題と今後の活動について
開催回・開催日	第1回専門部会 令和2年7月22日(火) 17時より
記録担当委員名	吉岡 博之
<p>【協議概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部会記録について 2. 副部会長の選任について 3. 地域生活支援拠点とは何か? 4. その他 <p>【課題となった事項の整理】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部会記録について <ul style="list-style-type: none"> ・部会記録については持ち回りとする。部会長はその持ち回りには該当しないものとする。ただし、田中委員、山本委員の当番の際は部会長が担当とする。 2. 副部会長の選任について <ul style="list-style-type: none"> ・前回の協議会の際に副部会長を選任しなければならなかったが、時間の都合で選任することができなかった。そのため今回選任を行うこととなる。部会長推薦で赤濱委員を推薦し、委員の承諾を得る。 3. 地域生活支援拠点とは何か? <ol style="list-style-type: none"> ① どのような目的? <ul style="list-style-type: none"> 障害者等の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、地域移行を進めるため、重度障害にも対応できる専門性を有し、地域生活において、障害者等やその家族の緊急事態に対応を図るもの。 (ア)具体的には、緊急時における迅速・確実な相談支援ができる機能、緊急時に利用できる短期入所等の機能を備える場。(地域における生活の安心感を担保する機能を備える場) (イ)体験の機会の提供を通じて、施設や親元からGH、一人暮らし等への生活の場の移行をしやすい支援を提供する体制を整備する場(障害者等の地域での生活を支援する場) ② どのような内容? <ul style="list-style-type: none"> 5つの機能を兼ね備える。 (ア)相談 (イ)緊急時の受け入れ・対応 (ウ)体験の機会・場 (エ)専門的人材の確保・養成 (オ)地域の体制づくり ③ 進捗状況は? 	

小金井市としては

(ア)相談の機能については

- ① 基幹相談支援センターを中心とした市内の相談支援事業所との連携
- ② 緊急時の受け入れ先の利用体制の整備

(イ)緊急時の受け入れ・対応については

・障害者福祉センターの緊急一時保護や市内の短期入所事業所で受け入れを想定している。

(ウ)体験の機会・場については

- ① 共同生活援助（グループホーム）の利用体験は、市内の短期入所事業所やグループホームで提供できるよう整備していく。
- ② 日中活動系のサービスは、市内の通所施設で提供

(エ)専門的人材の確保・養成については

・基幹相談支援センターへの委託により、地域に必要な人材を育成する研修を実施していく。

(オ)地域の体制づくりについては

基幹相談支援センターが中心となり

- ① 研修や市内の相談支援事業所との連携により、各相談支援事業所の対応力を強化し、地域力を底上げしていく。
- ② 市内の相談支援事業所等との連携により、市内の課題・ニーズを吸い上げていく。

【課題解決に向けて】

- ・基幹相談支援センターが中心となるが業務が本当に遂行できるのか？
 - ・緊急時に利用できる資源が整備されることはありがたいが、性格や障がいの特性によって、遠慮してしまう人たちがいることも忘れず整備してほしい。
 - ・高齢障害者の場合、資産の運用や処分などについても対応できる相談体制があることも大切。
 - ・施設や病院からの地域移行できる機能を有していることは大変ありがたい。
- 等々の意見が出された。

【次回の協議内容予定】

- ・地域支援拠点の件と障害者計画と障害福祉計画について

【次回の部会開催予定】

令和2年9月23日（水）